

主イエス・キリストの昇天

2025年4月27日

使徒の働き 1章3～11節

ルカ 22・69 だが今から後、人の子は力ある神の右の座に着きます。

使徒 2・33～35

ですから、神の右に上げられたイエスが、約束された聖霊を御父から受けて、
今あなたがたが目にし、耳にしている聖霊を注いでくださったのです。
……「主は、私の主に言われた。あなたは、わたしの右の座に着いていなさい。
。わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまで。」

5・31 神は、イスラエルを悔い改めさせ、罪の赦しを与えるために、この
イエスを導き手、また救い主として、ご自分の右に上げられました。

エペソ 1・20～21 神はキリストを死者の中から甦らせ、天上でご自分の右に着か
せて……すべての名の上に置かれた

ヘブル 1・3 ……御子は罪のきよめを成し遂げ、いと高き所で、大いなる方の右の
座に着かれました。

1・13 ……「あなたは、わたしの右の座に着いていなさい。わたしがあなたの
敵をあなたの足台とするまで。」

8・1 ……この方は天におられる大いなる方の御座の右に座し、主によって
設けられたまことの幕屋、聖所で仕えておられます。

12・2 信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。
この方はご自分の前に置かれた喜びのために、辱めをものともせず
に十字架を忍び、神の御座の右に着座されたのです。

I. イエス・キリストの昇天

- (1)死んで三日目に甦り、40日間弟子たちに現れた（生きている証拠を示すため）
- (2)弟子たちに語ったこと（神の国のこと、約束の聖霊、再臨、弟子たちは聖霊を受けて、キリストの証人となる）

- (3)彼らの目前で、見ている間に上げられた（雲に包まれて見えなくなった）
オリブ山から

- (4)二人の御使い？によって「主は再び来られる」と告げられた

II. 昇天の結果

(1)罪人の贖い主として来られた時は謙卑（神としての栄光を控えた＝人となった）
昇天は高挙（救い主としてのすべての御業を成し遂げ、御父の右に着座）
神としての栄光を回復

(2)救いの創始者かつ完成者であることを明らかにした
神であり、メシアである
完璧な救いを成し遂げてくださった
信じる者はみな救われる（悔い改め、罪の赦し）

(3)天の聖所の父の右の座で仕えておられる
大祭司（神と人との間の仲介者）として、とりなしてくださっている

III. 昇天の目的

近末 (1)約束の聖霊が降臨なさるため

わたしが去っていかなければ……（条件）
約束の聖霊を御父から受けて注いでくださった
聖霊は今、信者の内に、教会のうちに住んでおられ、働いておられる

近末 (2)終末において、ご自身がさばき主（審判者）として再臨なさるため

使徒 1・11 あなたがたが見たのと同じありさまで（雲に包まれて）

↓

マタイ 24・30（キリストの地^と再臨のとき、地上の不信者たちは）
人の子が大能と輝かしい栄光を帯びて天の雲に乗って来るの
を見るのです

黙示録 1・7 見よ、彼が雲に乗って来られる。すべての目ことに彼を突き
刺した者たちが彼を見る

14・14 見よ。白い雲が起こり、その雲に人の子のような方が乗
っておられた

コリント I 15・24～28

主は王の王、主の主として万物を従わせ、御父に渡す（敵を足台とする）
御子ご自身も御父に従われる

IV. 結び

(1)キリストの贖いの御業は、十字架だけでなく、十字架と復活だけでなく、昇天・
着座までも含まなければならない

(2)キリストによる救いはさらに終末の終わりまでを含まなければ不十分

(3)キリストの昇天がなければ、聖霊降臨も審判者としての再臨もない

(4)神の遠大なご計画は大パノラマ的に俯瞰するとともに、個別に見ていくことで
点が線になり、線が面になって関連性も分かるようになる